



社会調査・データアーカイブ 共同利用・共同研究拠点事業

二次分析研究会 2013 参加者公募型研究 成果報告会

家庭環境から見た若年者の就業とライフスタイルに関する二次分析
— 公的統計の匿名データと社会調査の個票データを利用して —

2014年2月21日(金) 10:30~18:00 東京大学赤門総合研究棟5階センター会議室

開会の辞 (10:30 ~ 10:45) 榎田直木 (独立行政法人統計センター/東京大学)**第一部会** (10:45 ~ 12:00) 司会: 朝井友紀子 (東京大学) コメンテーター: 境家史郎 (東京大学)

- 貧困リスクの高まりは生活意識にどのような影響を与えているか——国民生活基礎調査匿名データを用いた世帯主の年齢コーホート別分析
報告者: 森山智彦 (同志社大学)
- 雇用形態と健康の関連——非正規雇用者と正規雇用者の比較
報告者: 大高瑞郁 (山梨学院大学)
- 国民生活基礎調査を用いた「未病」者の実態に関する研究
報告者: 河野敏鑑 (駒澤大学)

第二部会 (13:00 ~ 14:40) 司会: 菅原育子 (東京大学) コメンテーター: 佐藤朋彦 (総務省)

- 女性の離職に対する企業規模効果の分析
報告者: 竹内麻貴 (立命館大学大学院)
- 女性の就業選択行動——妻と世帯収入要因分解
報告者: 田中規子 (お茶の水女子大学大学院)
- 企業規模別にみた女性の就業継続と収入
報告者: 寺村絵里子 (国際短期大学)
- 収入の規定要因の男女差を考える
報告者: 織田暁子 (京都大学大学院)

第三部会 (14:50 ~ 16:05) 司会: 多喜弘文 (東京大学) コメンテーター: 水落正明 (南山大学)

- 家庭環境から見た若年の就業行動と社会生活状況に関する計量分析
報告者: 伊藤伸介 (明海大学)
- 時間外労働に対する割増賃金率引き上げの効果
報告者: 朝井友紀子 (東京大学)
- 若年層の転職意識の構造と変動——「就業構造基本調査」匿名データを用いた実証分析
報告者: 石田賢示 (東北大学大学院)

第四部会 (16:20 ~ 18:00) 司会: 伊藤伸介 (明海大学) コメンテーター: 藤原翔 (東京大学)

- 若年層の近隣意識を規定する就業・家庭・近隣要因の分析
報告者: 上杉昌也 (東京大学大学院)
- 学歴と雇用流動化の関連——就業構造基本調査の匿名データを用いて
報告者: 多喜弘文 (東京大学)
- 高学歴継承が若年層の意識に及ぼす影響
報告者: 谷岡謙 (大阪大学大学院)
- 同居家族が若年者の生活水準に与える影響——全国消費実態調査を用いて
報告者: 脇田彩 (首都大学東京大学院)